

運動あそび療育のご紹介

突然ですが・・・こんなことはありませんか？

- ・はさみや箸の操作、折り紙など手先を使った作業が苦手・・・
 - ・走り方や投げ方、体操が、ぎこちない・・・
 - ・力加減が苦手・・・
 - ・高い所やスピードのある遊びが好きで、危険・・・
 - ・何回注意しても、姿勢がすぐ崩れる・・・
- ・・・などなど。



実は、「感覚の偏り」が影響しているのかもしれませんが。偏りは、運動面だけでなく、情緒面やコミュニケーションにも関係があると言われています。あそびでの運動遊び療育では、作業療法士が感覚に着目した理論(感覚統合理論)に基づいて、様々な遊びを展開しています。すぐすぐに効果が出るものではありませんが、未就学時に継続的に行うことが大事であると言われています。就学後の板書や体育、図工などの活動にもスムーズに移行できるよう、就学後も見据えて遊びながら支援を行っています。運動面のフォロー、情緒の安定、また、順番を待つ、友達と一緒にいるなどの社会性も育めるよう、プログラムを作成し、子ども達と楽しく行っています。気になる方は、ぜひご参加ください。

<あそびい運動あそび療育 概要>

【送迎】保育所へスタッフが13時頃お迎えに行き、15時に保育所へ送ります。

【時間】13:30～14:30

【頻度】1～2回/月

【内容】3人～5人の小グループで、様々なサーキット、感覚あそびを行っています。

【日程連絡】毎月、連絡帳または予約システムにてお知らせします。

【利用受付】半年に1回(9月・3月)希望を伺います。途中からの新規ご希望や中止に関しては、個別療育にてスタッフへ直接お申し付け下さい。その場合は翌月から反映してまいります。